



2015年9月25日

日本マクドナルド株式会社

報道関係各位

～お客様により身近に感じていただく「モダンバーガーレストラン」に向け～
**店舗グラフィックデザインに日本人デザイナーを初めて起用
年内に日本オリジナルデザインの店舗をオープン、来年度以降順次拡大**

日本マクドナルド株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長兼 CEO:サラ・エル・カサノバ)は、店舗内壁面のグラフィックデザインに日本人デザイナーを初めて起用いたします。日本の文化を知り、国内におけるマクドナルドのイメージを理解している日本人デザイナーは、日本のお客様にとって親近感がわくグラフィックデザインを生み出してくれるものと期待しています。日本オリジナルデザインの店舗は2015年末までにオープンする予定で、来年度以降は、全国のマクドナルド店舗に順次拡大してまいります。

現在、日本マクドナルドでは、アジア太平洋・中近東アフリカ地域の店舗内のグラフィックデザインとして、海外デザイナーによる、「アレグロフリーダム」「アレグロモーメンツ」「アレグロスタイル」「フォームモーメンツ」のデザインを採用しています。今後、日本マクドナルドでは既存の4つのデザインに、本プロジェクトで開発する日本オリジナルのデザインを加えた6種類を、店舗環境に合わせ積極的に展開してまいります。

今回起用が予定されているのは、日本のデザインスタジオ「TYMOTE(ティモテ)」及び「groovisions(グルーヴィジョンズ)」の日本人デザイナーです。「TYMOTE」は、東京に活動拠点をおき、グラフィックを軸に、映像、CG、音楽、メディア・アートなどで、高い水準の作品やアイデア、企画を多数生み出し、高い評価を受けています。「groovisions」は、1993年に京都で活動を開始。現在は東京を拠点とし、グラフィックやモーショングラフィックを中心に、音楽、出版、プロダクト、インテリア、ファッション、ウェブなど多様な領域で実績があります。今後、両デザインスタジオからの提案を受け、マクドナルドも参加して両社で協議しながら決定してまいります。

日本人デザイナーは、日本のお客様と同じく、子供の頃から日本のマクドナルドの店舗を利用したことがあり、数多くの楽しい食事の体験をお持ちです。今回起用する日本人デザイナーにも、そういった経験も踏まえながら、店舗内のグラフィックデザインを考案していただくことで、日本のお客様にはマクドナルドをより身近に感じていただき、食事体験を一層楽しんでいただけると考えています。

日本マクドナルドでは、お客様と心をつなげる「モダンバーガーレストラン」を新たなビジョンとして、お客様の声に耳を傾け、「メニュー」「価格」「快適な店舗環境」の改革に取り組んでおります。

「店舗環境」につきましては、2018年までに全店舗中90%の店舗の改装を掲げ、お客様の店舗環境向上に取り組んでおり、商品を注文する場所と受け取る場所を分けることによって、お客様に分かりやすく、サービスのスピードも向上する「デュアル・ポイント・サービス」や厨房で調理する様子をお客様からご覧いただける「オープンキッチン」、ご家族でご来店いただくお客様に適したサービスや設備を体感いただける「ファミリーフラッグシップ店舗」など、お客様のご要望にお応えする様々な店舗展開を行っております。

今後、日本オリジナルデザインの開発を始めたとして、日本のお客様のニーズに合った店舗を展開し、より快適な食事体験を提供してまいります。

＜一般のお客様のお問い合わせ先＞

マクドナルド公式ホームページ <http://www.mcdonalds.co.jp/>

<ご参考>

日本マクドナルドが店舗壁面のグラフィックデザインに初めて起用する 日本人デザイナーの紹介

TYMOTE(ティモテ)

【プロフィール】

2008年に設立された、東京拠点のデザイン・スタジオ。グラフィックを軸に、映像、CG、音楽、メディア・アートなど、メンバー各々が異なる分野でクリエイティヴを追求している。メンバーの多様な視点からプロジェクトを一度分解し、再構築することで、高い水準の作品やアイデア、企画を多数生み出している。代表作として、ISSEY MIYAKE INC. “MESSAGE”のアートディレクション、伊勢神宮式年遷宮広報本部“SOUL of JAPAN”のグラフィカルデザインなどがある。

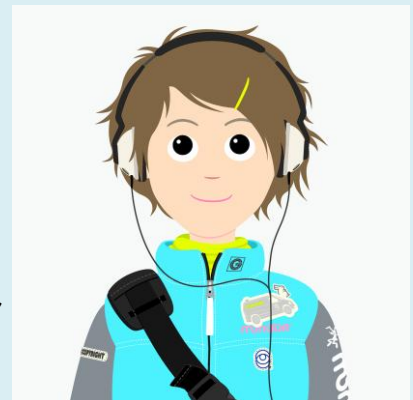


代表作の閲覧：<http://tymote.jp/works/>

groovisions(グルーヴィジョンズ)

【プロフィール】

東京のデザイン・スタジオ。グラフィックやモーショングラフィックを中心に、音楽、出版、プロダクト、インテリア、ファッション、ウェブなど多様な領域で活動する。1993年京都で活動開始。PIZZICATO FIVEのステージビジュアルなどにより注目を集める。1997年、東京に拠点を移動。以降の主な活動として、RIPSLYMEやFPMなどのミュージシャンのCDパッケージやPVのアートディレクション、『ノースフェイス展』など展覧会でのアートディレクション、NHKスペシャル『シリーズジャパンプランド』や日本テレビ『NEWS ZERO』でのモーショングラフィック制作などがあげられる。



代表作の閲覧：<http://groovisions.com/works/>

[現在日本マクドナルドで展開する店舗内グラフィックデザイン]



Allegro Freedom
(アレグロフリーダム)



Allegro Moments
(アレグロモーメンツ)



Allegro Style
(アレグロスタイル)



Form Moments
(フォームモーメンツ)